

建設技術展等の開催報告

みて、ふれて、知る 新技術・新工法 けんせつフェア北陸 in 新潟 2017 ～生産性革命を支える建設技術～ 大盛況で開催されました！

「けんせつフェア北陸 in 新潟 2017」実行委員会事務局

平成 29 年 11 月 1 日（水）と 2 日（木）の両日、新潟市の新潟市産業振興センターにおいて「けんせつフェア北陸 in 新潟 2017」を開催しました。

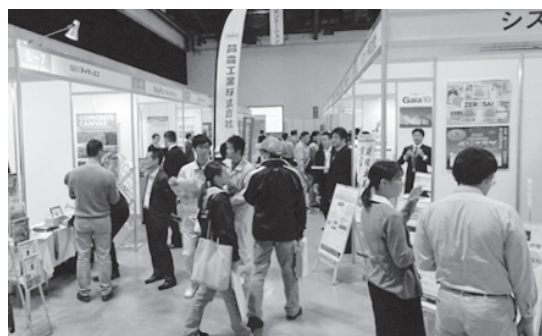
今回は、152 機関から 326 の技術が展示されました。また、『生産性革命を支える建設技術』のキャッチフレーズのもと、「ICT 特設展示場」を設けるなど、サブタイトルの「みて、ふれて、知る」に沿い、実演・体験による ICT 関連技術が紹介されました。

開催両日も肌寒い日ではありましたが、約 4,700 名の方々にご来場いただきました（写真－1～3）。

1. けんせつフェア北陸とは

本フェアは、産・学・官の優れた建設技術を一堂に集め、建設技術者の技術の研鑽・高揚ならびに技術情報の交流の場とすることで、建設技術の一層の高度化、広範囲な技術開発の促進を図り、新技術・新工法の積極的な活用促進、建設技術を活かした地域づくりや担い手確保につながる広報を目的としています。

主催は「北陸地方建設事業推進協議会」を母体とした官民の 20 機関で構成する実行委員会です。平成 5 年から 2 年に 1 回開催しており、今回で 13 回目となりました。



写真－1 屋内会場



写真－2 屋外会場



写真－3 ICT 特設展示会場

2. オープニングセレモニー

11月1日、午前9時30分から、オープニングセレモニーを行いました。

「けんせつフェア北陸 in 新潟 2017」の実行委員長を務める北陸地方整備局 渡辺企画部長の開会宣言の後、小俣北陸地方整備局長が開会挨拶を述べ、続いて国土交通省総合政策局 奥谷大臣官房技術参事官より祝辞をいただきました。

その後、来賓・主催者14名によるテープカットで2日間のけんせつフェアが幕を開けました(写真－4～6)。

3. 出展技術

出展テーマを「安全・安心」、「自然・文化」、「連

携・活力」の三つの技術分野に分類し、326の技術が152の関係企業・団体等により展示されました。各技術分野ごとの出展技術およびNETIS登録技術数は表－1のとおりです。

各社の展示ブースではパネルの他、実物や模型などによる実演・体験可能な新技術等が展示され、来場者、出展者同士でも活発な意見交換がなされていました。

表－1 技術分野（テーマ）ごとの出展技術数		
出展技術（テーマ内訳）	出展技術数	うち NETIS 登録技術数
「安全・安心」	238	103
「自然・文化」	34	14
「連携・活力」	54	11
計	326	128



写真－4 渡辺企画部長による開会宣言



写真－5 小俣北陸地方整備局長による挨拶



写真－6 テープカット

4. 展示技術プレゼンテーションコーナー

出展技術を詳細に理解していただくため、出展者による展示技術プレゼンテーション（37 技術）を実施しました（表－2、写真－7）。

実施にあたっては、来場者へのプレゼンテーションだけでなく、新技術・新工法に関する技術者の技術力向上と出展者の「展示技術をより詳しく説明したい」との思いを、CPD、CPDS 等の認定

プログラムとして関連付けました。結果、95 名の技術者に受講証明を発行することができました。



写真－7 展示技術プレゼンテーションの様子

表－2 展示技術プレゼンテーション

	出展 テーマ	技 術 名	企 業 ・ 団 体 名
第1クール (1日目) 10:10 ～ 13:10	連携活力	北陸地方整備局における i-Construction 推進の取り組みについて	北陸地方整備局 企画部
		安藤ハザマの『i-Construction』	株式会社安藤・間
		超低空頭場所打ち杭工法	鉄建建設株式会社 北陸支店
		デジタル工事写真の黒板の電子化	一般財団法人日本建設情報総合センター 北陸地方センター
	安全安心	老朽化吹付法面の補修補強技術ニューレスプ工法	日特建設株式会社
		乾式吹付耐震補強工法	第一建設工業株式会社
		透水性保水型工法（ATTAC 工法）表層・路盤工	株式会社岡部／全国トース技術研究組合
		下水熱交換方式（管底設置型）融雪システム	株式会社興和
		河川維持管理の高度化 ～水、陸、空からのモニタリング新技術の紹介～	朝日航洋株式会社 北陸空情支社
第2クール (1日目) 13:20 ～ 16:40	安全安心	RBP ウォール工法	株式会社ミルコン
		Re-Pier 工法（伸縮式ストラット工法）	あおみ建設株式会社
		CI-CMC 工法	株式会社不動テトラ
		自然災害防災システム ZEROSAI	シスメット株式会社
		UAV・地上レーザによる三次元測量	株式会社ナカノアイシステム
		作業、交通の安全確保技術	ユニトライク株式会社
		RT ワンガードクリア工法	レジテクト工業会
		ステンレス鉄筋コンクリートパー「サスコン」	愛知製鋼株式会社
		土留部材引抜同時充填工法	協同組合 Masters
		無機質コンクリート浸透性改質材 RC ガーデックス	日本躯体処理株式会社
第3クール (2日目) 9:10 ～ 12:10	自然文化	レインボーエコロブロック Biz	日本道路株式会社 北信越支店
		吸水性泥土改質材「ワトル」	五洋建設株式会社
		燃焼促進剤 K-S1	株式会社大智
		建設副産物の建設資材への適用性	一般社団法人泥土リサイクル協会
		丸太打設液状化対策&カーボnstock工法	木材活用地盤対策研究会
		造粒固化技術による建設系混合廃棄物のリサイクル	恵和興業株式会社
		ミラクルソル水質浄化工法	日本建設技術株式会社
	安全安心	Color Gate System	ワム・システム・デザイン株式会社／日 精株式会社／五洋建設株式会社
		あらゆる床の滑りを防止する技術	株式会社ニーズインターナショナル
第4クール 2日目 12:20 ～ 15:20	安全安心	PAN WALL 工法	PAN WALL 工法協会
		ハイパワーフェンス工法	ハイパワーフェンス協会
		IPH 工法（内圧充填接合補強）	一般社団法人 IPH 工法協会
		ひび割れ自動抽出「Kuraves-Actis」	株式会社保全工学研究所
		移動式垂直昇降型トラックマウント高所作業車	株式会社ワイケー
	連携活力	自動ヘルーガ	東亜建設工業株式会社
		港湾工事における情報化施工技術	株式会社本間組
		NETIS プラス新技術情報データベース	一般財団法人先端建設技術センター
		路面下ビッグデータ共有システム〈ROAD-S〉	株式会社土木管理総合試験所

5. 「ICT 特設展示」 ～ぐるっと体験「ICT」～

本フェアのキャッチフレーズを踏まえ、屋内だけでなく屋外にも実演・体験型の ICT 関連特設展示会場を設けて、UAV によるデモンストレーションや ICT 建設機械の実演を行いました（写真－8）。

また、ICT 未経験の建設関連企業や将来の建設界の担い手となる学生に建設現場の将来像をアピールするため、会場入り口から工程順（起工測量→3次元データ作成→施工・施工管理→検査）に周回・観覧することで、ICT 施工の流れを体験・理解しやすくした展示としました。

来場した工学系の学生は積極的に ICT 建設機械に体験乗車していました（写真－9）。



写真－8 ICT 建設機械による実演



写真－9 ICT 建設機械への体験乗車

6. 合同企業セミナー

担い手確保のための情報発信として、新潟県内の建設会社と就職を控えた県内学生との「合同企業セミナー」を開催しました。

会場には、新潟県内の大学、高専、高校の学生が訪れ、2日間で約 600 名がセミナーに参加しました。また、併設された企業説明のブースにも積極的に足を運んでいました。

セミナーに参加された学生からは、「進路や就職先の選択に非常に参考になった」、「後輩のためにもこの企画を続けてほしい」などの意見があり、担い手確保の一環として行った成果が感じ取れました（写真－10、11）。



写真－10 合同企業セミナー



写真－11 企業説明を熱心に聞く学生

7. おわりに

今回のフェアにより、今後の新技術・新工法の普及と地域を支える建設事業への理解がより一層深まること、また、建設業界の担い手確保の一助となることを期待しています。

本フェアの出展者をはじめ、開催にあたりご指

導・ご協力を賜りました関係各位、ならびにご来場いただきました皆様方に厚く御礼申し上げます。

けんせつフェア北陸 in 新潟 2017 に出展された技術や建設機械の内容は、北陸地方整備局 北陸技術事務所の HP に掲載されています（URL：<http://www.hrr.mlit.go.jp/hokugi/index.html>）。